

新型コロナウイルス感染症患者（市内1例目）の市内発生に関する疫学的調査について

このことについて、新型コロナウイルスへの感染が確認された方が利用した、高速バス並びにスーパーの利用等について、疫学的調査を行った結果、次のとおり濃厚接触者はいないことが確認できましたので、お知らせします。

1 高速バスの利用について

(1) 調査結果

患者は、いわきまでの帰宅のために高速バスを利用した時点では発症しておらず、また、マスクも着用しており、咳、痰、鼻水といった症状がなく、他者への飛沫感染や接触感染の可能性は低い状況でした。これらのことにより、バス利用者等で濃厚接触者はおりませんでした。

(2) 市の対応

市におきましては、2月27日東京駅13時発のいわき行きのバスに乗車した方で健康に不安がある場合等について、市保健所に設置している帰国者・接触者相談センターに相談をいただくことを3月7日の記者会見時や市ホームページ上でこれまで呼びかけて参りましたが、さらに、市民の皆様や乗車されていた方の不安を軽減する観点から、乗車された方に連絡できるよう関係機関の協力を得て調査を進めて参ります。

2 スーパーの利用について

(1) 調査結果

患者からの聴き取りに基づき、店舗内での動線の確認を行い、他者との長時間の接触はないこと、購入した商品は包装された商品のみであり、他者と共用するトンゴ等の道具の使用が必要な商品は購入していないことを確認しました。また、店舗利用時、患者本人はマスクを着用しており、咳、痰、鼻水といった症状がなく、他者への飛沫感染や接触感染の可能性は低い状況でした。これらのことより、スーパー利用に関して濃厚接触者に該当しないとの結論に至りました。

(2) 市の対応

市におきましては、以上の理由により患者が利用した店舗に対する消毒の指示は行いませんが、市民の皆様の安全・安心を確保する観点から、市内のスーパー等に対し、日常の清掃や必要に応じての消毒について徹底を求めて参ります。

3 知人及び親族について

(1) 調査結果

患者からの聴き取りに基づき、接触者として知人及び親族を調査しました。患者は、知人と数回の立ち話等を室外で行っておりますが、いずれも2, 3分で、距離も離れており、この際、患者と知人は、両者ともマスクを着用していたことを確認しました。

また、患者は帰宅の際、バスを降車してから駐車場まで親族の車に同乗しましたが、発症前であり感染リスクは低いことに加え、更に親族はあらかじめマスクとゴム手袋も着用していたことを確認しました。

これらのことから、接触者として調査した知人及び親族は、濃厚接触者には該当しないとの結論に至りました。

(2) 市の対応

知人及び親族の体調は良好であります。知人及び親族並びに市民の皆様の安全安心の確保を図るため、念のため、今後、最低2週間は、体調の変化に注意していただき、体調に変化があった場合には、保健所まで連絡していただくことしました。

(濃厚接触者の定義)

- ① 新型コロナウイルス感染症が疑われる者と同居あるいは長時間の接触（車内、航空機内等を含む）があった者
- ② 適切な感染防護なしに新型コロナウイルス感染症が疑われる患者を診察、看護もしくは介護していた者
- ③ 新型コロナウイルス感染症が疑われる者の気道分泌液もしくは体液等の汚染物質に直接接触した可能性が高い者
- ④ 上記以外で、手に触れること又は対面で会話をすることが可能な距離（目安として2メートル）で、必要な感染予防策なしで、患者（確定例）と接触があった者（患者の状態などから患者の感染性を総合的に判断する）

<報道機関の皆様へ>

患者等の個人に係る情報について、プライバシー保護の観点から、提供資料の範囲内での報道に格別の御配慮をお願いします。

【事務担当】 いわき市新型コロナウイルス対策本部事務局
（保健所総務課） 電話 27-8555